

# 地域福祉活動計画策定についてのアンケート（地区社協用）

## 回答から見えた上市町の現状と今後の展望

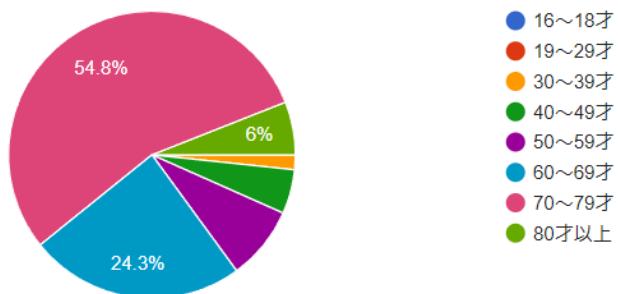
第4次の活動計画の策定では、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた地区懇談会の実施がかなわずアンケート調査に切り替えさせていただきました。

アンケートは374部配布しインターネットとアンケート用紙による回答の2種類で行い301名から回答がありました。

問1 あなたの年齢を教えてください。（1つ選択）

 コピー

301件の回答



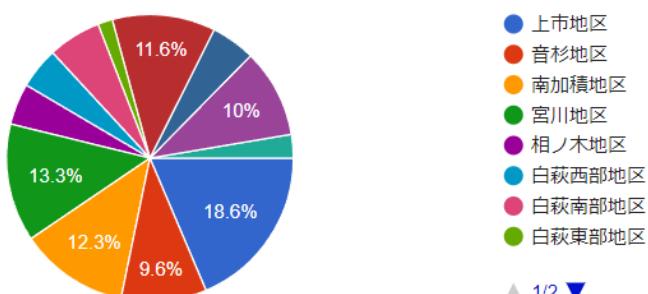
【考察】回答者の85%が60才以上であることから、地区社協で活動している人は60代以上であることが推測できる。

今後は現役世代を巻き込む仕掛けや世代を超えた社協活動の必要性が窺える。

問2 お住まいの地区を教えてください。（1つ選択）

 コピー

301件の回答

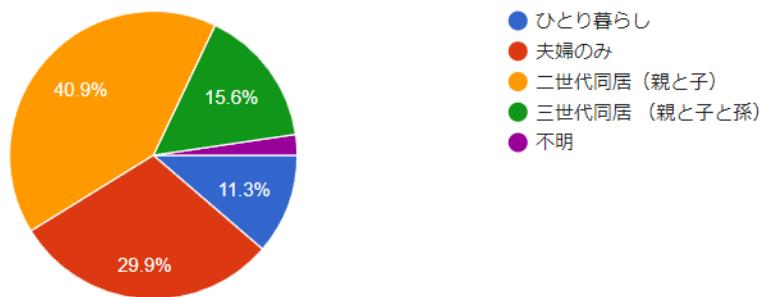


▲ 1/2 ▼

問3 家族構成を教えてください。 (1つ選択)

 コピー

301 件の回答



ひとり暮らし

夫婦のみ

二世代同居（親と子）

三世代同居（親と子と孫）

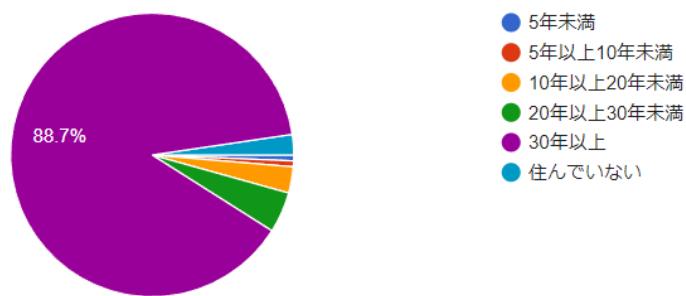
不明

【考察】 10人に一人は一人暮らしである。単身者が多いということは、孤立や孤独をはらんでいる。これは今後、問2とのクロス集計が必要である。

問4 あなたは上市町に住んで通算何年になりますか。 (1つ選択)

 コピー

301 件の回答



5年未満

5年以上10年未満

10年以上20年未満

20年以上30年未満

30年以上

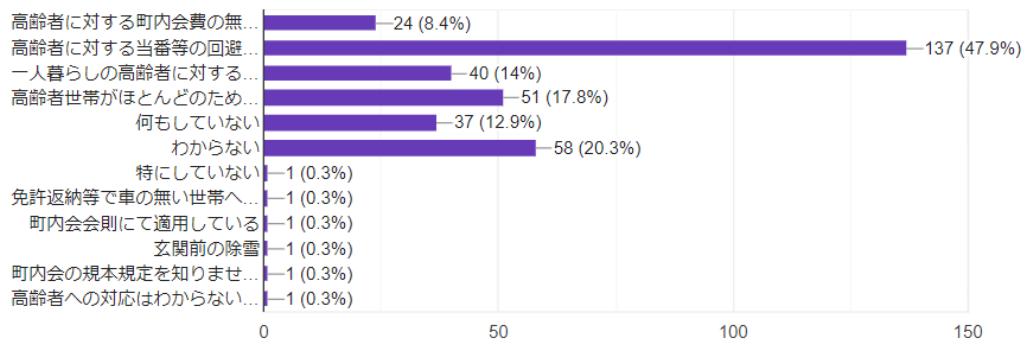
住んでいない

【考察】 30年以上住んでいる人が約9割を占めている。つまり、地域の歴史的変遷を知っており、良かったところ、課題などを感じていることが多くあるのではないか。一方新しい人が少ないことは、つながりや新たな意見や考え方に入りにくいことが推測される。

問5 あなたの地区(町内会等)の高齢者への対応を教えてください。(あてはまるものすべて選択)

コピ  
一

286 件の回答

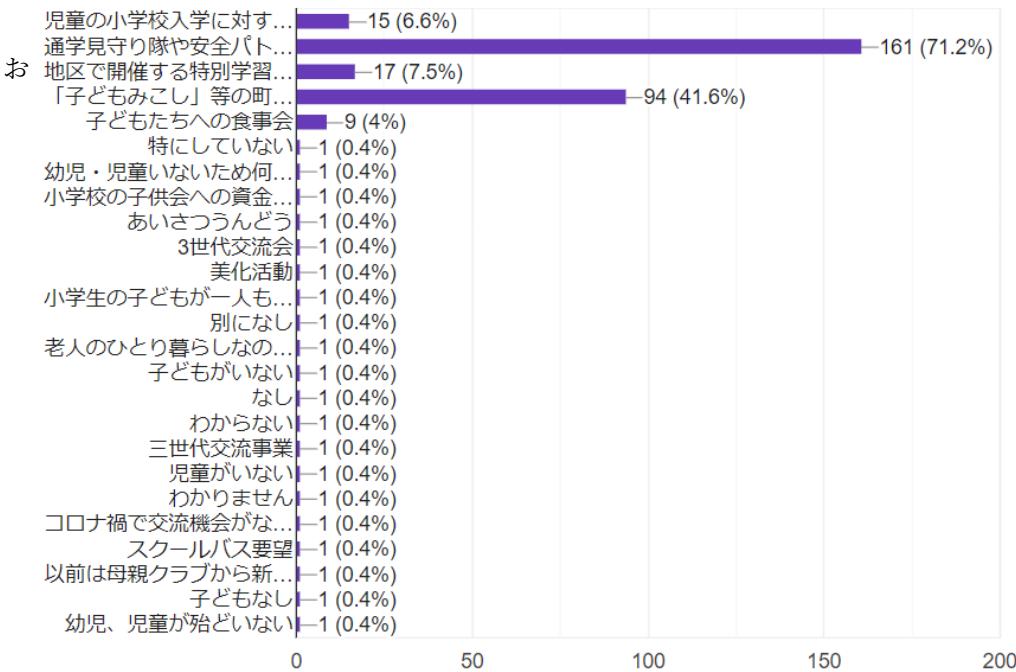


【考察】 高齢者に何らかの配慮を行っている町内会が多いが、高齢者世帯がほとんどのため何もしていないという町内会もある。

問6 あなたの地区（町内会等）の幼児・児童（～18才）に対しての活動を教えてください。（あてはまるものすべて選択）

コ  
一  
ビ

226 件の回答

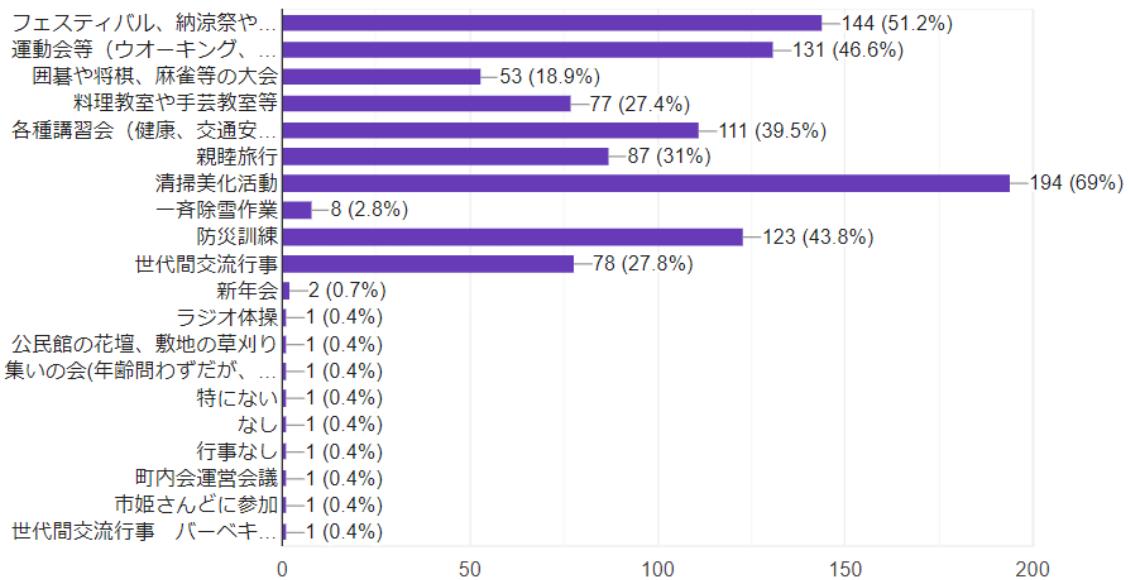


【考察】 「通学見守り隊や安全パトロール」「こどもみこし等の町内巡回の活動」を行っている町内は多いが、そのほかに子ども向けの活動を行っている町内は殆ど見られないため、地域と子どもの繋がりが薄れていくことが推測される。また、子どもがいない町内も見られる。

問7 あなたの地区ではどのような住民参加行事を行っていますか。※コロナ禍で中止となつたものも含む（あてはまるものすべて選択）

コ  
ロ  
ナ  
禍  
中  
止  
事  
件  
一  
覧

281 件の回答

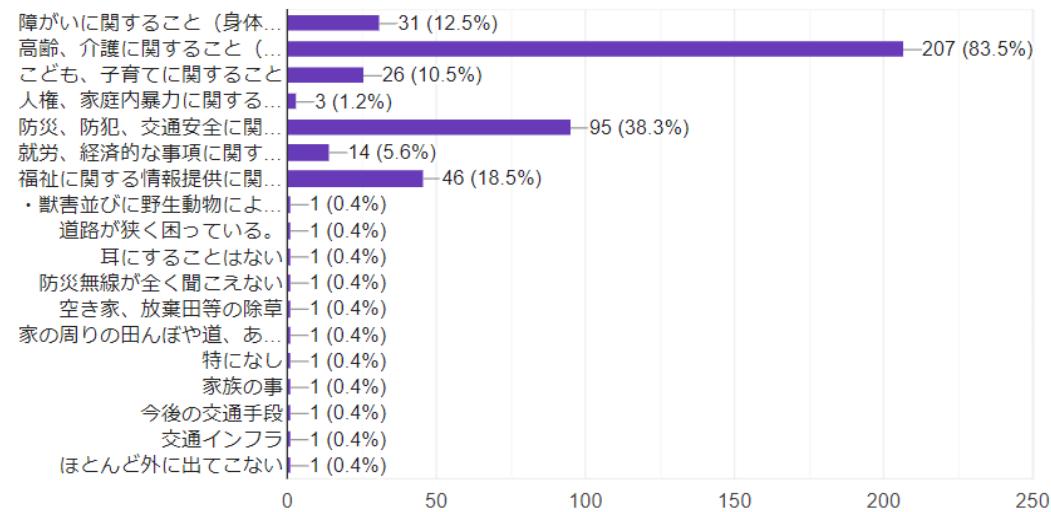


【考察】 清掃美化活動、フェスティバル・納涼祭、運動会などが行われているが、コロナ禍で中止になっていると思われる。多種多様な活動が行われているが、それが参加者の満足度に繋がっているのかはこの調査からは明らかにすることはできない。また、活動内容が多いことで、主催・運営の負担になっていないか検証する必要がある。

問8 あなたの地区で生活の困りごとについて、耳にすることはどのようなことですか。  
(あてはまるものすべて選択)

コ  
ロ  
ナ  
禍  
中  
止  
事  
件  
一  
覧

248 件の回答

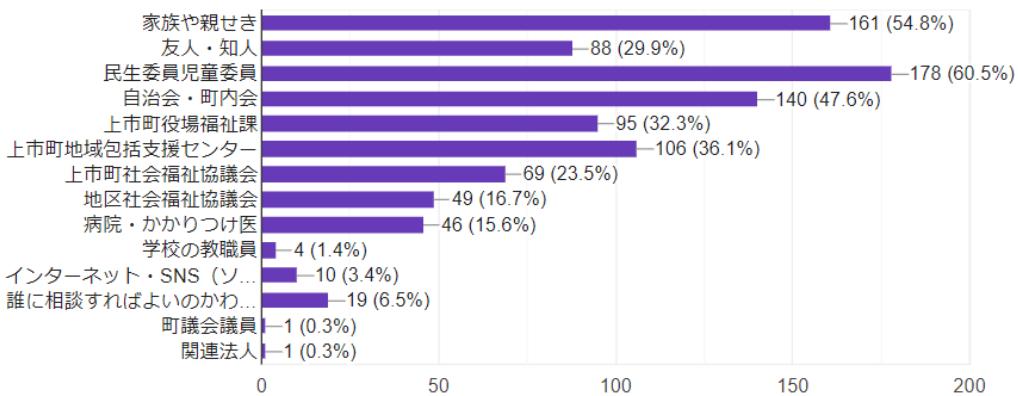


【考察】 高齢、介護に関することを耳にすることが最も多くなっている。自身の問題だけでなく、家族・親族の 8050 問題などの両側面が考えられる。

問9 あなたの地区で日常生活を送るうえで心配な方や困っている方がいたら誰（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべて選択）

コ  
ロ  
ビ  
ー

294 件の回答



【考察】 民生委員児童委員に相談する人が最も多く、次いで家族や親せき、自治会・町内会となっている。

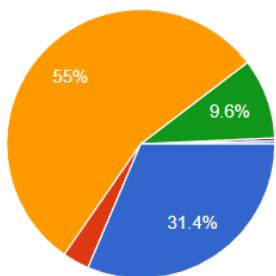
公的機関では地域包括支援センターに相談する人が最も多い。様々な資源に相談していることから、個人により相談のしやすさや内容によって機関を使い分けていることが分かる。

誰に相談すればよいかわからないという人も少なからずいるため、そうした方が相談しやすい仕組みづくりが求められる。

問10 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（1つ選択）

コ  
ロ  
ビ  
ー

280 件の回答



- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- 地区のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 住民と行政と社会福祉協議会の協働で解決したい
- 行政に解決してもらえるように要求したい
- 町内会役員に相談する
- まずは区長に話す

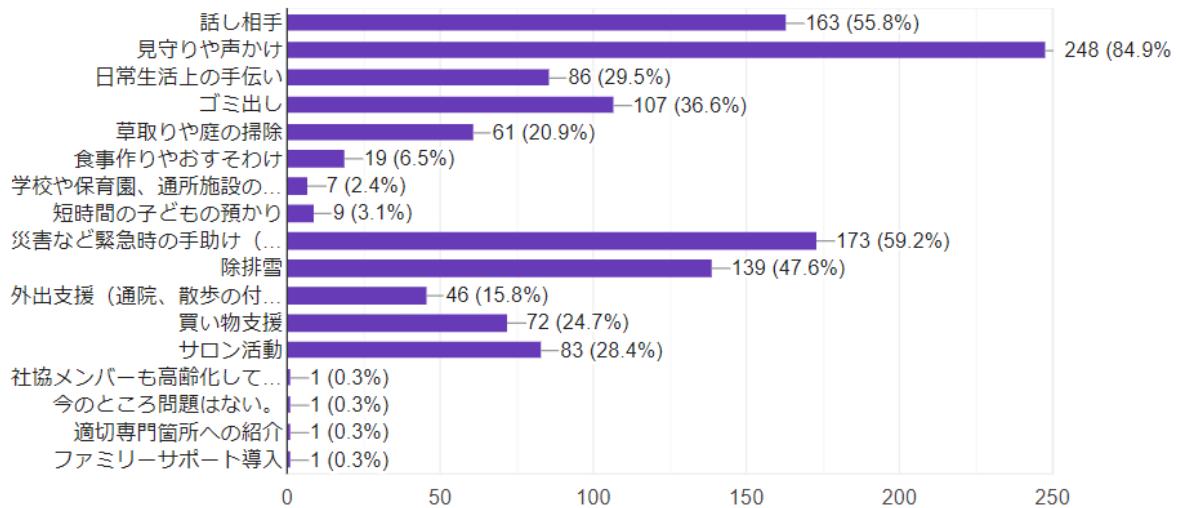
【考察】 住民と行政と社会福祉協議会の協働で解決したいという方が半数以上占めているため地域の声が届く仕組みを定期的に持つ必要がある。

また、自分たちの生活に関わることだからできるだけ住民同士で協力して解決したいという方が 3 割程度いる事から、自治会活動などの住民同士が協力していく意識も根付いていることが伺える。

問11 あなたの地区で日常生活を送るうえで心配な方や困っている方がいたら、地区社会福祉協議会としてできることは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

コ  
ビ  
ー

292 件の回答



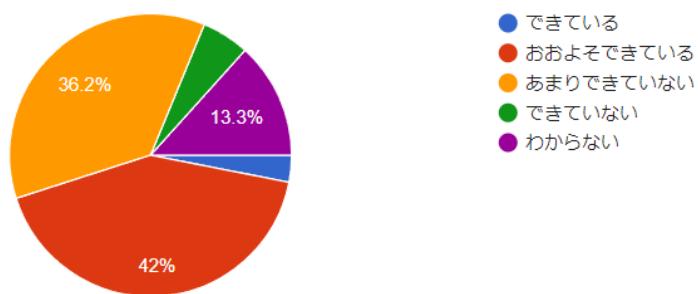
【考察】 地区社協としてできることは多岐にわたり、住民のニーズに合わせて変化を持つ機能がある。特に見守りは声掛けができるという人が多いことから、身近なかかわりで、日常的に認識されていることが分かる。次いで災害など緊急時の手助けができるという方が多いことは、万事に備えて対応する意識が持てていると思われる。

今後、災害時などに協力できる人への研修会等を開催するなど災害時に備える取組みが求められる。

問12 問11の地区の助け合いや支え合いの活動はできていると感じていますか。（1つ選択）

コ  
ビ  
ー

293 件の回答

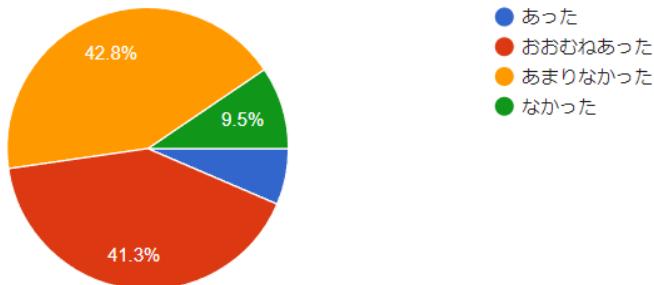


【考察】 地区の助け合いや支え合いの活動は、できていると感じている人とできていないと感じている人が、ほぼ同数となっている。わからないといったどちらともいえない人もおり、支え合いや助け合いの活動の成果を感じにくい傾向にある。

問13 地区の助け合いや支え合いの活動の結果、具体的な効果がありましたか。（1つ選択）

□ コピー

264 件の回答

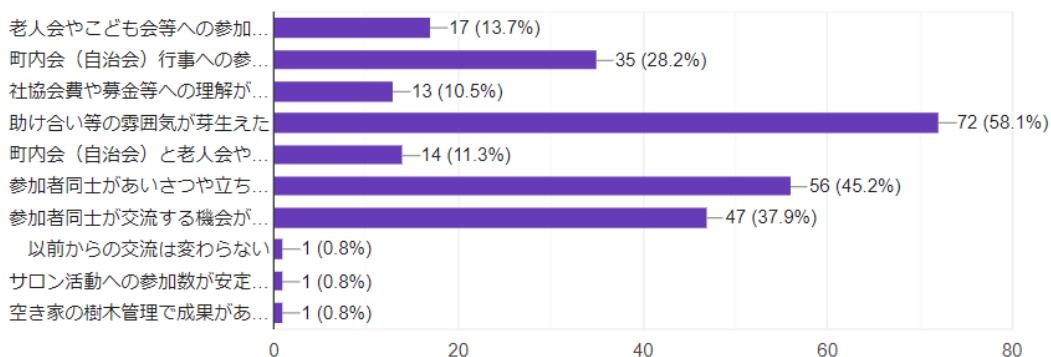


【考察】 具体的な効果があったという人となかったという人は、ほぼ同数となっている。あまりなかった人が半数いるため、喪失感や燃えつきに繋がらないようフォローが必要である。

問14 問13で「あった」、「おおむねあった」と回答した方のみお答えください。  
どのような効果がありましたか。（あてはまるものすべて選択）

□ コピー

124 件の回答



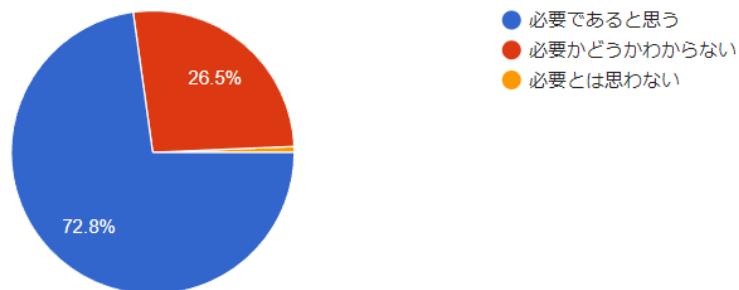
【考察】 地区の助け合いや支え合いの活動の結果、助け合いの雰囲気が芽生え参加者同士のあいさつや立ち話、交流する機会が増えたなど、一定の効果が見られたと考えられる。

今後このような好事例を共有していくと他地区のモデルになると考えられる。

問15 あなたは地区のサロン活動や見守り活動についてどう思いますか (1つ選択)

 コピー

294 件の回答



- 必要であると思う
- 必要かどうかわからない
- 必要とは思わない

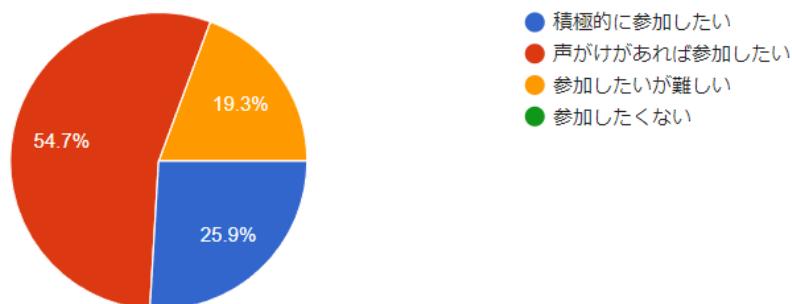
【考察】 必要であると思うという人が 72.8% を占めていることから「サロン活動」は地域に定着してきていると考えられ今後も継続して取り組んでいく必要がある。

問16 問15で「必要であると思う」と回答した方のみお答えください。今後、参加したいと思いますか。 (1つ選択)

 コピー

 ビュー

212 件の回答

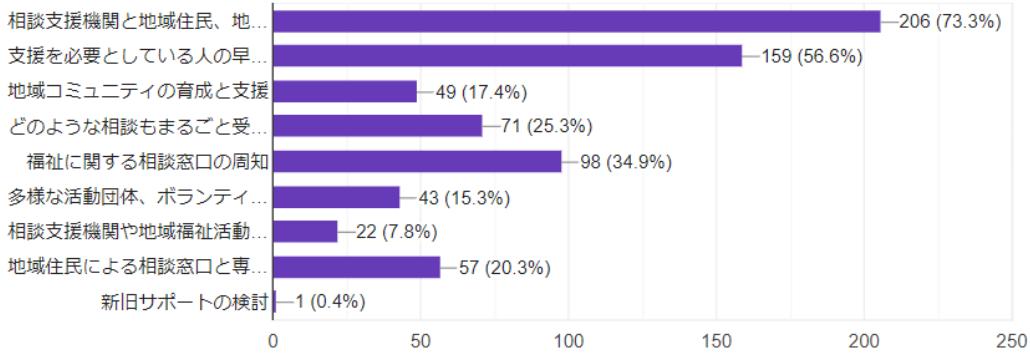


- 積極的に参加したい
- 声掛けがあれば参加したい
- 参加したいが難しい
- 参加したくない

【考察】 サロン活動や見守り活動が「必要であると思う」と回答した人のうち、声掛けがあれば参加したいという人が 54.7% いる事から、声掛けすることが参加者を増やすことに繋がると思われる。参加したいが難しい人の回答者属性をクロス集計などで分析していく必要がある。

問17 あなたは一つの相談支援機関だけでは解決できない人や複数の課題を抱える人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか。（3つまで選択）

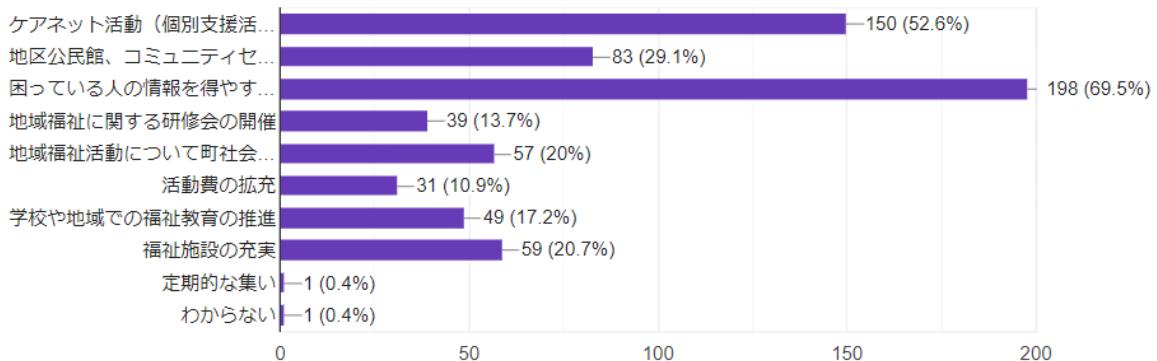
281 件の回答



【考察】 一つの相談機関だけでは解決できない複数の課題を抱える人を支援につなげるには、専門職と地域の関係者との連携が不可欠である。  
また、支援を必要としている人を早期把握する仕組みづくりが急務である。

問18 あなたは地区の助け合い・支え合い活動の振興の為に何が必要だと感じますか。（3つまで選択）

285 件の回答

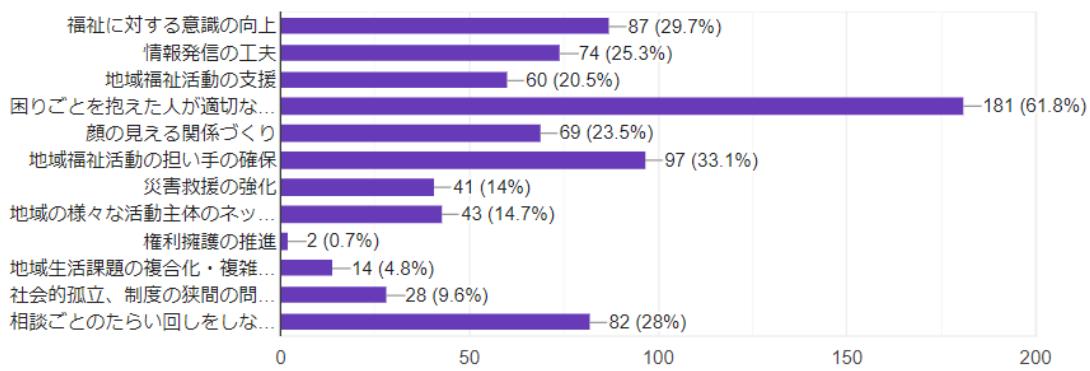


【考察】 地区の助け合い、支え合い活動の振興の為には、困っている人の情報を得やすくする必要があると感じている人が最も多いことから、困っている人の情報がわかれれば、さらに活動に協力できる人がいることが推測できる。困っている人の情報を共有する仕組みづくりが必要であるが、個人情報の観点などから難しいことも考えられる。

問19 誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、町社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。 (3つまで選択)

コ  
ロ  
ビ  
ー

293 件の回答

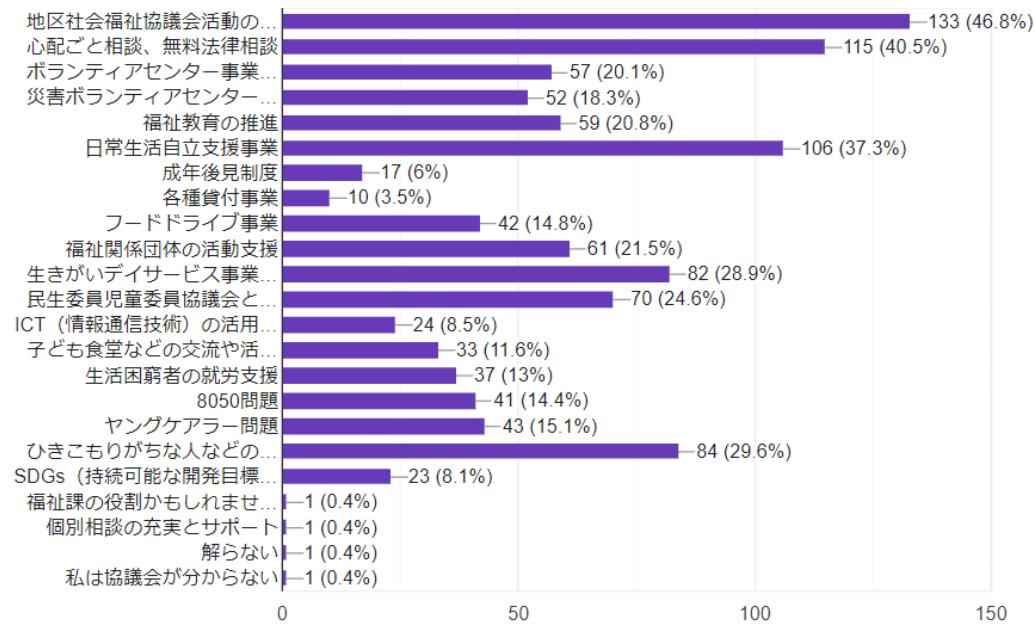


【考察】 町社協がどのように力を入れていくべきかという問い合わせには、困りごとを抱えた人が適切な支援に繋がる体制づくりが最も多くなっている。このことから、困っている人の情報を得ても、適切な支援につなげるまでの体制づくりができていないと解決できない事が危惧される。

次いで、担い手の確保に力を入れるべきという回答が多く、地域の担い手不足が深刻な課題となっていることがわかる。今後、町全体で福祉教育や地域福祉の必要性と魅力など先行事例を発信し、我が事として考えてもらう機会を設ける必要がある。

問20 町社会福祉協議会がおこなう活動・支援で充実してほしいことを教えてください。（5つまで選択）

284 件の回答



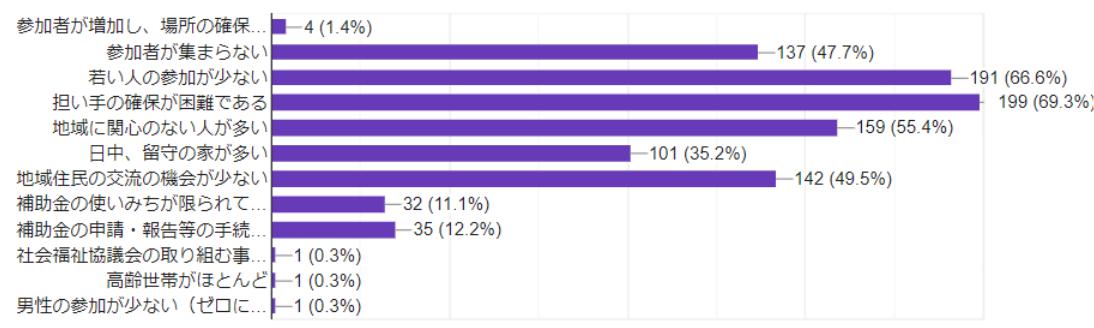
【考察】町社協が充実してほしいことでは、地区社協の活動支援が最も多くなっていることから、地区社協への支援をさらに強化する必要がある。

心配ごと相談や無料法律相談などの相談事業に対する要望も多くあり、困っている人を相談につなげる仕組みづくりが求められている。

引きこもりやヤングケアラー問題、8050 問題など、複合的な事例に対する支援も求められている。

問21 今後、地区社会福祉協議会を運営する際の課題はなんですか。（あてはまるものすべて選択）

287 件の回答



【考察】 地区社協を運営する課題では、担い手の確保がこんなにという事や参加者が集まらない、若い人の参加が少ないなど、地域に関心のない人が多いことによる課題が多くみられる。また、コロナ禍もあり、地域住民の交流の機会が少ないと考えられる。